

さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課

(三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地)

電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133

E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

新しい指定文化財の紹介～陸軍第七通信連隊一二八部隊 防空壕～

齋宮の北野にある「陸軍第七通信連隊一二八部隊 防空壕」が、新たに町指定史跡となり、第二次世界大戦の時に造られた遺構として、県内でも初めての文化財指定となりました。

「陸軍第七通信連隊一二八部隊」は、昭和 17 年 12 月 15 日に部隊編成が完成し、齋宮の北野に基地が設置されていましたが、終戦が近づく昭和 20 年 6 月 25 日に解散しています。指定された「防空壕」は、基地に付属して建設され、東 50m には、連隊本部が建設されていました。



現在は畑の中にありますが、当時は林の中に隠れるように造られていたそうで、屋根の上にある盛土でカモフラージュしていました。



内部は廊下をはさんで2つの部屋があり、この部屋に士官が隠れたようです。壁などはコンクリートにモルタルを塗ってきれいに仕上げられています。



部屋の内部に爆風除けの壁をつけた、特殊な部屋があり、この内側には、天皇陛下の写真を避難させたと言われています。

見学にあたって

お車でお越しの際は、北野広場の駐車場をご利用ください。防空壕は個人所有の畑内にありますので、気をつけてお入りください。内部は暗いので、ライトをご持参ください。



防空壕を上から見た図



棚跡

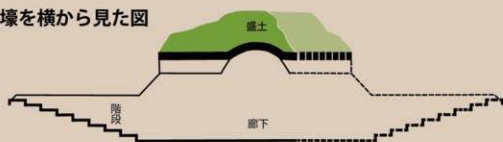


避難した部屋



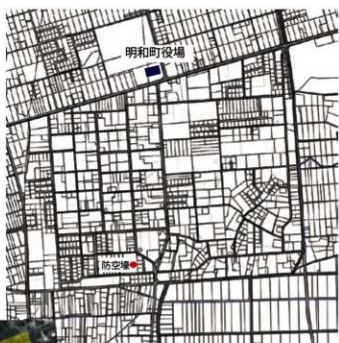
階段と廊下

防空壕を横から見た図



今に残る基地の区画

左の写真は昭和 23 年に米軍が撮影したもので、建物の痕跡と基地の区画が見えます。右は現在の地図で、基地の区画が今も残り、道路として使われていることがわかります。



防空壕は、航空写真からはわからないので、うまくカモフラージュされていたようです。



基地を統括する本部で、ここを中心に道路が Y の字に曲がっていました。

基地の範囲は約 57ha で、甲子園球場約 15 個分にもあたる広大なものでした。